

◆危険な外来植物『メリケントキンソウ』にご注意ください!!

外来植物である『メリケントキンソウ』が、町内の学校や公園等で生育・繁殖していることが確認されました。

外来植物については、在来植物等への影響が懸念されますが、『メリケントキンソウ』は種子に鋭いトゲがあることから、生育している場所に手を着いたりした際に肌に刺さるなど人的被害も心配されます。

町内全域に広がっている可能性がありますので、お気をつけください。

「メリケントキンソウ」ってどんな植物？

【原産地】 南アメリカ

【発 芽】 一般的に秋ごろ（10月）
ときに春（3月）

【開 花】 4～5月
（直径10mm程度で
薄い黄色）

【結 実】 5～6月
（危険な時期）

【生育地】 公園・路傍・空き地・
芝生・家庭の庭など
地肌が見える明るい場所

【高 さ】 5～10cm（草が混み合う場所では高くなる）

＜鋭いトゲ状の種子＞

【特 徴】 小さな草で明るい緑色をしている。枝を出すのが、競争相手のいない場所では横に広がり、混み合う場所では高くなる。枝に花をつけるのが大きな特徴で、よく似たシマトキンソウは枝を出さず、地際に花をつける。果実には2mm程度のトゲがあり、これが肌を刺す。果実は熟すとバラバラになりやすく、靴裏などに刺さり繁殖地が広がる。

【駆 除】 駆除の時期や繁殖の密度等により、手作業での抜き取りや刈り払いのほか、可能な場所では薬剤による駆除が考えられます。いずれについても、開花時期前の駆除が効果的であると思われます。

【町施設での生育確認】

あすばる大崎周辺・ふれあいの里公園・町総合体育館周辺・町内小学校など

【生育場所での注意】

生育が確認された場所へ立ち入られた際は、靴底を確認し、種子が刺さっていないかなどチェックしてください。

